

ライトハイク教室（詩の教室） 概要

俳
HAI



一般社団法人 ライトハイク協会

info@lighthaiku.com

はじめに

昨今、若い世代の語彙力の低下が指摘されています。同時に言葉から生みだされるポエジーを汲み取る感性、想像力の欠如が、人と人とのコミュニケーションにおいても不具合を生じさせています。

今こそ、「詩」の出番です。

そして、令和時代の「詩」は、これまでのひとりで生み出すモノローグ詩ではありません。

AIでも俳句が作れる時代。これからの「詩」は、生きている人間と人間との言葉のやり取りで生まれるダイアログ(対話)詩が必要です。

幸運なことに、日本には「連歌・俳諧」というお手本があり、その発展系とも言える「大喜利」を楽しめる素地があります。

この素晴らしい文化に現代版のアレンジを加えて、地球のどこにいても、どんな言語でも、詠み合える「世界詩」文化を作ることが、ライトハイクの使命です。

その100年、200年計画の起点として、

楽しくポエトリー・ティーチャー(詩の先生)とふれあうことで、子どもたちに本物の「詩体験」を提供したく、「ライトハイク教室」を企画しました。

ライトハイク教室が提供するの、日常に詩があふれていることへの「気づき」です。

一度の詩体験が、一生の宝物になることを信じて。

ライトハイクとは



ライトハイク協会理事 林家たい平

公式サイト「結ぶ言葉 ライトハイク」 <https://lighthaiku.com>

季語や定型（5・7・5）等のルールはない自由詩。

上の句と語数を揃えた下の句を結ぶ「二句一連（Parallel uni-verse）」の詩が、ライトハイクです。

「俳（HAI）」を掲げ、会話形式で言葉を結ぶライトハイクは、世界中の誰もが気軽に参加できる短詩系文芸です。

俳（HAI）とは・・・

「人の心をくすぐる何か（Something bright）」

ライトハイク（例）

楽しみで眠れなかった

という、何でもない、つぶやきがされたとします。ライトハイクではこれを上の句と見立てて、下の句を結びます。

唯一のルールがあり、それは、上の句と下の句の語数(文字数)を合わせること。

例えば以下の言葉を結びます。

枕元は羊で溢れている

上と下を結ぶことで、一編の詩となります。

楽しみで眠れなかった

枕元は羊で溢れている

ライトハイクはいわゆる自由律ですが、語数を揃えるルールを用いることで、定型 575 の俳句のように器に入れる言葉を選ぶ感覚が得られます。

それは外国語においても同様で、英語を含めた音素文字言語の場合は【単語数】を合わせるルールを用います。（以下の場合、上下とも 6 単語揃え）

Have been too excited to sleep

The bedroom is a sheep farm

ライトハイク教室

ライトハイク教室

(1) 時期: 2024年5月～2025年3月 うちの1日

(2) 対象: 全国 幼稚園・小学校・中学校・高校・大学

(3) 参加者: 1クラス 20名～40名 (実作を伴うので、最大40名程度)

1日のうち、連続したコマで、違うクラスに同内容の教室を行うことが可能です。

(4) 講師 (2名)

進行役 : 八塚慎一郎(ライトハイク協会代表理事)

詩の先生 : ポエトリー・ティーチャー (詩人)

俳人・歌人・柳人・詩人・小説家・囃家・作詞家・コピーライター・文化人など、外部評価実績のある「詩人」を招聘します。

(5) 費用 助成金(申請中)及び企業、賛助会員からの協賛を活用するため、基本的に費用はかかりません。

(6) 教材 1枚で完結するA4サイズのプリント(表・裏)を持参します。

表面には、ライトハイクの分かりやすい説明。

裏面は、文字を書き込める仕様で、実作時に用います。

学校で新たに用意いただくものではありません。

(協会が、当日使用する画用紙とマジックを用意します)

(7) 授業内容

1. 「ライトハイク」って何 まずは八塚とポエトリーティーチャー(PT)の対話で、分かりやすくライトハイクを説明します。
2. 実際に作ってみよう お題「上の句」を発表して、生徒の皆さんにそれに結ぶ下の句を作ってもらいます。
(個人実作) 先生にも是非、作っていただきたいです。
生徒の皆さんの作品の中より、いくつかを選んでPTから寸評をいただきます。
そこにさらにPTが下の句を結ぶことも。
ただの作文かと思っていた文章が、PTの言葉によって「詩」に変わる魔法体験をしてもらいます。

3. ライトハイク・パシュート 【3名】【3名】を選出して、2チームで実作します。

(団体実作)

1チーム：3名 (承・転・結)

Aチーム

共通お題(起)

Bチーム

1. 承

「A—承」が結ぶ言葉 詠む

「B—承」が結ぶ言葉 詠む

C句

D句

・題→C句 対 ・題→D句

観ている生徒さんの多数決で 甲乙をつける(どちらが題に、より結ばれているか) 1ポイント

2. 転

相手の D 句に結ぶ言葉「A—転」が詠む 相手の C 句に結ぶ言葉「B—転」が詠む

E 句

F 句

・D 句→E 句 対 ・C 句→F 句

観ている生徒さんの多数決で 甲乙をつける(どちらが、より結ばれているか) **1ポイント**

3. 結

前 3 句に結ぶ言葉「A—結」が詠む 前 3 句に結ぶ言葉「B—結」が詠む

G 句

H 句

PT が甲乙をつける (四行詩として評価) **2ポイント**

A チーム

B チーム

題

題

D 句(相手の) 対

C 句(相手の)

E 句

F 句

G 句

H 句

※同点の場合は、5句目を 3 人(チーム全員)で考えて競う。

一般社団法人 ライトハイク協会

〒111-0041 東京都台東区元浅草 4-4-5 TEL:03-6231-6883 / FAX:03-6231-7266 2023年(令和5年)9月1日 設立

設立目的

当法人は、万葉の時代から現代の短詩系文芸に受け継がれてきた「俳」のポエジーを国内外に伝えることを目的とする。その手段としての新しい詩形を用いて、世界に明るい詩を広め、ゆくゆくは言語・国籍を超えて一編の詩を結ぶ、新たな文芸文化の創造を目指すこととする。

理事（3名）

代表理事 八塚慎一郎(やつづか・しんいちろう)

1975年 愛媛県松山市生まれ

2000年 日本大学芸術学部映画学科卒業

2002年 詩集「たとえば君が好きな歌」(愛育社)上梓

2005年 日本大学大学院芸術学研究科文芸学専攻修了

第一詩集「たとえば君が好きな歌」の帯文にアンパンマンの作者である故・やなせたかし先生より「ごく解りやすい明るい詩を書く八塚君は自分の詩の言葉を既にもっている」という言葉をいただき、「明るい詩」の伝道師たらんと現在に至る。

理事 宍戸健司(ししど・けんじ) 2005年角川書店 取締役 2016年 角川文化振興財団 専務理事

理事 林家たい平

2026年 愛媛県今治市において 全国大会【ライトハイク甲子園（仮）】開催を目標にしております。